

キャリア

プロフェッショナル 仕事の流儀 極北のラストサムライ 脳神経外科医 谷川緑野

放送日：2022年5月27日 放送時間：45分

対象校種 中学校・高校

対象教科 総合・道徳



この番組の良さ



● 脳外科の高度な手術の映像が見られる

世界中から執刀依頼が届く。積み上げた手術は他を圧倒する5千例。脳外科医の谷川緑野医師は極北の地北海道で、三大死因の脳卒中の手術を長い間行ってきました。動脈瘤の手術では、指先のわずかな震えさえゆるぎません。動脈瘤に張り巡らされている、髪の毛ほどの血管を少しでも傷つけると、半身麻痺や大量出血を引き起こし死に至ります。動脈瘤から血管を剥がし、動脈瘤をクリップして禍根を断ち切る技術は、実際に手術に立ち会っているかのような錯覚に陥るほど見ている者を魅了します。

● 医療現場で働く人々の努力を知ることができる

谷川緑野医師の下には、その技術を学ぶため、日本各地から若手の医師が集まっています。手術の際には、医師、看護師がチームとなって総力戦を展開していきます。脳内に血管を移植するために、腕の血管を採取するのは若手医師。そして、集中力を高めるために、一番弟子の医師と交替しながら手術をする谷川医師。手術中の極限の中で、様々な岐路をチームで乗り越えていく映像からは、将来、医療現場に立つことを夢見る生徒の職業観・勤労観を養うことができます。

番組活用のポイント

● 谷川医師の手術に臨む姿勢を学ぶ

谷川医師には貫く流儀があります。それは、「心を動かさない」。「自分の責任で死なせてしまうかもしれないと思うから、恐怖心が湧いてきて、そうになると手が震える。余計なことは考えずに、目の前のことに集中する。手先の器用さなんか問題じゃなくて、不器用でもいいんですよ。それよりも手先を含めた自分の行動を制御する心のありようなんです」と語る谷川医師は、「脳外科は精神論です」と番組内で言い切っています。また、「術中って必ず岐路に立つんで、さあどっち選びますかって話の連続なんですよ。術中に何かを決めるのも脳外科医だけだよ。だからそう簡単に簡単な道を選んでもらったら困る」とも語っています。

自宅から約340km離れた網走には週1回通いますが、緊急の要請があればすぐ駆け付けます。番組内でも帰宅直前に電話が鳴り、網走の病院へ急いで向かいました。そして車の中でリモートにより現場に指示を出しながら、手術にも立ち会います。「目の前の患者を治したいだけなんですよ。治すために医者になったんで。」と話す谷川医師の行動力、精神力に感銘を覚えることでしょう。中学校道徳の内容項目(4)希望と勇気、克己と強い意志の学習での活用が効果的と言えます。

● 谷川医師の過去の経験と信念

谷川医師には忘れられない思い出があります。ある動脈瘤の患者さんの手術をやって、術後に死亡したという出来事です。亡くなった後に裁判になり、原告側の弁護士が書いている言葉の中に「谷川医師は急いでやらなくてもよい動脈瘤の手術を、自分がやりたいからやったのではないか」とありました。そのことについて、「誰でもない自分でやった結果でそうなってしまったから、責任を取らなきゃいけない部分だと思うし・・・」と思慮深く谷川医師は話します。助けたいと思うほど、高まっていく手術のリスク。その腕は、極北の地で一人、長い間理不尽なほど責任と対峙し続ける中で磨かれたものと言えます。「水も人も一緒に低い方に流れる。でも俺たちは簡単な方に流れたらダメなんじゃないのって話をよくします。僕いつも言うんですよ。迷ったらよりつらいほうの道行けよって」挫折を乗り越え、至高の技術を身に付けるに至った谷川医師の言葉から、仕事に対する信念を感じ取ることができます。中学校道徳の内容項目(12)社会参画、公共の精神、(13)勤労、及び総合的な学習の時間におけるキャリア教育の一環としての活用が考えられます。


執筆者
秋田県藤里町立義務教育学校藤里学園
後期課程教頭 **嵯峨静人**



医療に携わる人たちの仕事に対する思いとはどのようなものだろうか。

対象校種 中学校 対象教科 総合

[授業時間50分×2] まるごと視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>脳外科の手術数5千例、再発率0%、レジェンドの存在、ラストサムライと呼ばれているのだな</p> <p>再発率0%は神業だ どのような人物なのだろう</p> <p>谷川医師はなぜ神業のような手術ができるのだろうか</p> <p>最先端の技術を使った手術だろう 何事にも緻密な人だろう</p>  <p>番組まるごと視聴45分</p> <p>手術の技術 手術時の精神 谷川医師の行動力</p> <p>世界一美しい出血が見られない手術 全ての神経、血管を残す手術 脳外科は精神論 心を動かさない 自分の行動を制御する心のありよう 週一で網走に通うが、緊急の要請があればすぐ駆け付けるなど患者本位</p> <p>他の執刀医を圧倒する高い技術 患者と家族のために努力する姿勢</p> <p>心を動かさない精神力 当たり前のことを計画通り行う姿勢</p> <p>谷川医師には、「脳外科は精神論です」と公言し、豊富な経験に裏打ちされた高い技術を駆使して患者や家族のため妥協せず手術する、患者本意の姿勢が培われているから。</p> <p>仕事のプロとして誇りと自信をもって働いている職業人について調べてみたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脳外科医谷川氏を賞賛する声や手術によっては約半数が再発する可能性がある中、再発率0%の医療実績を紹介し、生徒から疑問を聞き、生徒の言葉で学習問題を設定する。 ・生徒の求めに応じて番組を全視聴するが、視聴する視点を3つ提示する。 <ol style="list-style-type: none"> ①谷川医師が手術を行う際の技術の高さ ②谷川医師が手術を行う際の心の在り方 ③谷川医師の医療現場における行動力 ・谷川医師から学んだことで、これからの生かしたいことは何か問う。 ・意見交流する時間を設定し、自分の見方・考え方を広げるようにする。 <p>【思考・判断・表現】 谷川医師の手術に向かう姿勢や医療に対する思いを番組視聴から考察し、学んだことをこれからの生活にどう活用すべきかについて、自分の言葉でまとめることができる。</p>